

本町まちづくり懇談会ニューズレター

◆ 第4回本町地域づくり懇談会を開催しました。(平成 30 年 9 月 27 日)

平成 30 年代前半の完成を目標としている国道 294 号バイパスにより、本町地区ではまちづくりを取り巻く環境が変化します。このような状況の変化に対応し、賑わい創出に向けて様々な課題を解決していく必要があります。

第 4 回の懇談会では、目標とする街の姿のイメージを共有しながら、将来的に望まれる「道路空間の出来形（道路の幅員構成や無電柱化、景観形成上の配慮事項等）」について意見交換を行いました。

▼ 地区の将来像に対する意見（第 1 回懇談会）

- ① 若者を中心に、みんなが住みたくなるようなオシャレな街
- ② 人と人のコミュニケーションが取れるような関係がある街
- ③ 人が歩きやすい街（地元の人にとっても、観光客にとっても）

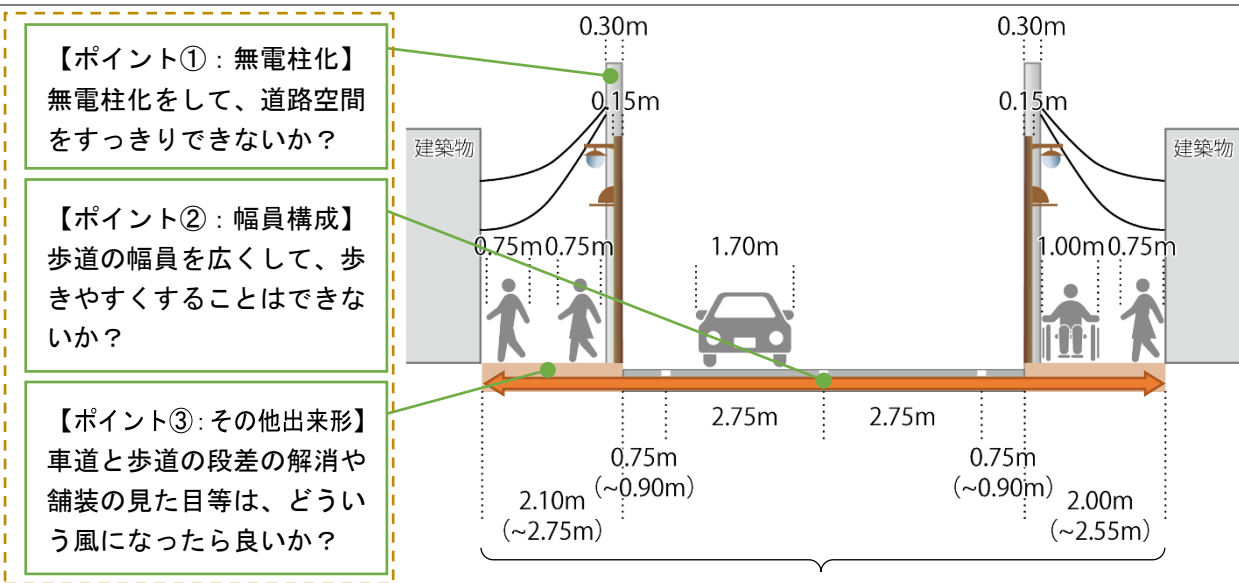


◆ 「道路空間の出来形」を考える際のポイントは？

「将来の道路空間」は、3つのポイントに絞って意見交換を行いました。

また、実現に向けた手法や、他都市の事例について勉強したほか、実際の歩道の広さ等も体験しながら、将来的に望まれる道路空間の出来形について意見交換を行いました。

国道 294 号の現況幅員（本町地区）と、「道路空間の出来形」を考えるうえでのポイント



道路空間（公共空間）

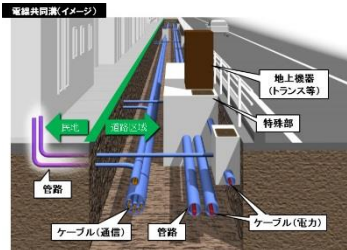
- ポイント①の実現手法 「電線地中化」によって、道路空間をすっきりすることができます！
- ポイント②の実現手法 「歩車共存道路」によって、歩道を広くすることができます！

◆将来的に望まれる「道路空間の出来形」

将来的に望まれる姿

無電柱化について

- ◆無電柱化を実現し、電柱が無い通りとした方がさっぱりしている。電柱は無い方が良いと思う。
- ◆地上機器（長さ 1,300mm×幅 450mm×高さ 1,450mm）は、道路空間ではなく、民地側に場所を確保し、配置する方が良い。
- ◆無電柱化の実現に対する本町地区の総意として意思表示をするため、自治会や銀座会等で意見を取りまとめ、段階的に進めていくべきではないか。



【無電柱化の手法：電線共同溝方式】 【無電柱化された白河停車場線】 【街道沿道の無電柱化事例（栃木市）】
出典：国土交通省ホームページ

幅員構成について

- ・歩道幅員は、広く確保できるのであれば広い方が良い。
- ・速度抑制策を講じて歩行者の安全の確保がなされれば、歩車共存道路は良いと思う。
- ・歩道を活用して、例えばワゴンセールのようなことができれば、歩行者（来街者）が増えるのではないか。
- ・車で来街者が多いため、「車では行けない町」というイメージにならないようにすべきである。



【歩車共存道路の事例（出雲市：神門通り線）】
出典：島根県ホームページ

その他

- ・歩道の段差は無い方がよい。車椅子やシニアカーでも自由に往来できる。
- ・歩車道の舗装は、グレー系の落ち着いた色調が良い。
- ・車止めは、なるべく少なくし、安全確保に必要な最低限の配置が良い。



次回は勉強会！
12月4日（火）に
開催します！



「源流の里づくり」シンボルキャラクター みなもん

【このニュースに関するお問い合わせはこちらへお願いします】
 福島県県南建設事務所 企画管理部 企画調査課 (TEL : 0248-23-1617)
 白河市役所 建設部 まちづくり推進課 (TEL : 0248-22-1111)